

# 生きることを前提に

# さるさわ

発行元  
〒029-0431  
大東町猿沢字板倉 57-1  
猿沢市民センター  
TEL 0191-76-2220  
FAX 0191-48-3366

## 第1回終活講座

1月25日(火) 第1回目の終活講座を開催しました。初回のテーマは「生前整理」。猿沢地区内外合わせて18人が参加しました。

「生前整理は自分が生きることを前提に、物・心・情報を自分で暮らしやすく整理すること」と講師の佐藤さちよ先生(生前整理アドバイザー認定指導員)から教えていただき、生前整理の考え方、始め方、取組み方を学習しました。

生前整理を通して、自分の生き様を振り返ったり、自分が本当に大切にしている物(こと)の発見になるとわかりました。そういった意味では、宝さがしに近いですね。

今回の講座をおして生前整理をすることも、大切な人への感謝の気持ちを伝えることも、今生きているからできることだと思いますし、これから生きることを考えることにもつながると思います。



講師の佐藤先生



メモを取りながら参加する受講生

## 正月用生け花教室



講師の指導を受ける受講生

12月28日(火)に正月用生け花教室を開催しました。

受講生の中には生け花に初挑戦の方もいらっしゃいましたが、講師の及川智子先生(猿沢1区)は小原流の基礎基本から、丁寧に指導くださり、正月にふさわしい生け花作品を完成させることができました。

職員が、講師の指導のもと制作した生け花作品を改善センターロビーに展示しています。

改善センターのお正月も華やかに迎えることができました。

## 3学期始まる=子ども教室=



1月19日(水)から放課後子ども教室の3学期が始まりました。

猿沢の子どもたちには冬休みの間、会っていなかったため、身長が少しづつ伸びたように思います。

冬休み明けの小学生のエネルギーは想像以上です。子どもの元気は地域の宝だなと最近感じています。将来の猿沢の担い手として頼もしいです。

冬休み期間中に開催した指導員会議では、2学期の課題や改善点について話し合いました。

2学期に引き続き感染症対策を取りながら、安心して過ごせる環境を整えていきます。

# 身近な「紙」とわたしたちの生活

＝学びの土曜塾＝

1月5日(水) 猿沢市民センターで学びの土曜塾が開催され、猿沢からは7名の小学生が参加しました。

テーマは「紙」。紙の由来や作られ方のお話を聞き、和紙や新聞紙、「コピー用紙を顕微鏡で観察する」などしてわたしたちの生活との関わりについて学びました。

他にも、郷土学として芦東山かるたに挑戦したり、工作では風船ヘリコプターづくりにも取り組みました。

午後には、「この日学習したことを自分の言葉でパンフレットにまとめ、理解を深めました。猿沢から参加した児童は、とても楽しかった様子で学びの土曜塾を通して「お友達ができたら」とつれづれに話していました。」

学びも友情も築き深める機会となったようです。



紙をよーく観察しています



飛ばすぞ〜Q



学習意欲に燃えています

## 猿沢診療所の新型コロナウイルス3回目の接種予約について(案内)

猿沢診療所では、2回目までを当診療所で接種した方の接種予約を受付しております。

現在、若干の余裕があることから、定期的に通院している65歳以上のかかりつけ患者さんのお他院で接種した方の受付も行っています。ただし、3月分までの枠が無くなり次第終了とさせていただきますので、ご了承ください。

なお受付は、平日の午後1時30分からとなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

猿沢診療所 ☎ 76-2020

(注) お急ぎの方や都合が合わない方は、集団接種(会場:ユードーム)をお勧めいたします。

【集団接種予約コールセンター】

☎ 0120-0333-567



小野寺剛さん(3区)が、改善センターに立派な門松を飾ってくださいました。

ありがとうございます。



## 春よ来い

春よ来い 早く来い  
あるきはじめて みいちゃんが  
赤い鼻緒の じょじょはこし  
おんもへ出たいと 待っている

童謡・唱歌で想い出をたぐって



季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式です。  
恵方巻も楽しみですね。  
日本の伝統行事として大切にされている「節分」。家庭で楽しんで季節感を味わいましょう。



NEW 日本一周計画 都道府県の鳥 各都道府県のシンボルに制定されている鳥を簡単な説明を加えて紹介するコーナーを新設しました。  
シンボルの鳥を巡って、一緒に日本一周しましょう。

## 北海道の鳥「タンチョウ」

純白で美しい姿が優雅で気品高く、北海道を代表する鳥として古くから道民に親しまれています。  
※特別天然記念物

「タン：タンポポ」

みなさん、タンポポの由来をご存知ですか。

